

処もあまたども鈴附のあつりなつど七翼七鷹など云て
七品の征鳥七曜七政と云事もあまたども此等にとりて
食つてもころえどいつと海七の數鷹は由縁あるやう
おもはるゝゆ七鷹を信濃の國に地名などありあ
むやまゝく問へる事と君侯も云又或鷹書は狩場の
七草と云ふも七種の鷹の藥草と云ふものもある
かゝく七の詞よりある事なるべし

佐保那のむとぬれつる蟻なれや柳のあらるをそある
古註は柳水可尋と云を詳あつぬや鷹の名もあ
かゝるやハツえは鷹の藥は柳のものとせし藥は用る